

令和3年 第4回 根室市教育委員会 会議録

1. 公開案件の審議

(1) 議案第20号 根室市立学校の施設の開放に関する規則の一部を改正する規則

結 論 原案どおり決定

2. 非公開案件の審議（会議録省略）

(1) 議案第21号 根室市図書館協議会委員の任命について

結 論 原案どおり決定

(2) 議案第22号 根室市公民館運営審議会委員の解任及び委嘱について

結 論 原案どおり決定

3. その他

・令和3年根室市成人式について

【 社会教育課長 】

皆様、新聞報道等で既にご承知のこととは思いますが、本年1月に開催を予定しておりました成人式については新型コロナウイルス感染症の関係により5月2日に開催となっております。

開催にあたっては、根室市保健課で設けております、帰省前の学生等にPCR検査に係る費用を1万円を上限に補助するという制度を利用し、成人式に参加するために帰省する新成人に対し、検査費1万円の助成をするほか、帰省時に抗原検査キットを無償で配付しまして、成人式の前日若しくは当日の朝に抗原検査を自ら行っていただいた結果陰性であれば式に参加していただくという方向で準備を進めております。

なお、式典については時間の短縮を図るため来賓を市議会議長1名としております。

また、緊急事態宣言等が発令された地域及びまん延防止等重点措置の実施区域に指定された地域からの参加を控えていただきます。

札幌市については宣言等は出ておりませんが、北海道と札幌市が共同で呼びかけております感染拡大防止に関する要請のなかで、他地域との不要不急の往来は自粛してほしいとの文言があることから、それに基づき今回の成人式については札幌にお住まいの方については参加をご遠慮いただく予定であります。

根室市在住の新成人についても検査キットを郵送で配付し、陰性を確認してもらってから出席していただきます。

会場には新成人とその保護者のみが入場可能となっており各種委員や議員等に列席の案内は行っておりません。なお、保護者については新成人1名につき2名までと制限する予定であります。保護者については連絡先の記入用紙に記入いただき、新型コロナウイルス感染症発生時の対応に備えます。

ホームページなどで問い合わせをいただいたなかで、成人式に併せてクラス会がひらかれクラスターが発生したら不安という声があったことから、新成人の方々には新しい生活様式等を守るよう呼びかけます。

今後の感染状況によっては延期・中止も視野に入れなければならないため、状況に応じて対応策を検討していく方針であります。

【 委 員 】

今のところ、出席を控えていると確認できるのは何名か。

【 社会教育課長 】

根室市以外に住所を持つ方の申し込みは94名。うち34名が札幌市、まん延防止等重点措置の対象地域からは8名のため、この計42名には出席をご遠慮いただきます。出席の出来ない新成人に対しては、YouTubeでの動画配信に加え、しおりを郵送。更に、来年1月開催予定の令和4年成人式への参加も可能となっております。

・意見交換

○目的

教育行政の課題についての情報共有、さらには頂いた意見を今後の事務を進める上での参考とするために行うもの

○テーマ

・「不登校児童・生徒数及び発生事案への対応等について」

【 教育部長 】

根室市立学校における不登校についてのご報告であります。

令和3年3月末現在の不登校児童・生徒数ですが、小学校においては5年生で2名、6年生で4名の計6名、中学校においては1年生で3名、2年生で7名、3年生で14名の計24名となっております。うち3年生の進路については、根室高等学校への進学が6名、雄峰高等学校への進学が4名、標津高等学校並びに通信制の私立校であるN高等学校への進学が各1名、家事手伝い・自宅待機が1名、市内水産加工会社への就職が1名となっております。

総数では、平成30年度は38名、令和元年度は37名のため、ここ3カ年でいいますと、減少傾向にあります。

続いて令和3年度にありました事例についてのご報告ですが、光洋中学校と啓雲中学校の統合に伴うクラス編成により仲のよかった子と離れてしまったことなどが原因で学校に来られなくなってしまった生徒が1名おります。父子家庭のため、祖母が面倒をみておりますが、祖母もたいへんショックをうけている状況であります。

学校においては、啓雲中から異動してきた教諭による家庭訪問をこまめに行うほか、保護者に対しては学校長名によるおたよりを発出しております。

市教委としては、学校教育指導室及び教育支援担当主幹と学校間で連携しながら保護者との連絡を切らさないように対応するとともに、登校できた際にはすぐに対応できる環境づくりに努めております。また、指導室では祖母と面談を行い、お孫さんに対する想いを伺い、ご本人が乗り越えなければならない問題だという共通認識を図ったうえで、今後の生活について、昼夜逆転の生活リズムとならないように、3度の食事を一緒にとったり普段通りに会話をするなど、当面は見守りながら本人の意思決定を尊重するように促しました。

根室市における不登校への対応組織については、主に中学校毎に設置し関係教員が不

登校の生徒に対する対応を協議する「不登校支援委員会」、全校に設置されており職員会議の前に各種連絡調整をするなかで不登校の児童・生徒への対応を協議する「校務運営委員会」、不登校の子どもたちを受け入れ、学習支援等を行うことにより学校復帰に寄与する「ふれあいくらぶ弥生」がございます。

不登校については家庭の事情も様々あり、支援委員会等では児童生徒の欠席・遅刻の状況と保護者の教育への関心と協力について図表化し、細かく対応しておりますが、家庭環境によって対応がまったく違うため学校現場でも苦労していると伺っております。

【 学校教育指導室長 】

不登校については、人間関係のもつれや家庭環境の変化、学習へ向かう意欲の変化であったり、将来への不安感であったり、理由・原因は様々です。

理由がはっきりみえていると学校現場でも対処法について検討しやすいのですが、本人が理由を語ってくれない、保護者も理由がわからないというパターンについては解決への糸口をみつけにくいいため、細かな変化にも気づけるよう学校としては必ず保護者の方との連絡は切らさないようにしております。

どの児童生徒にも言えることですが、保護者の方に励ましの声をかけながら、お子さんに対しては、家庭訪問などで顔だけでも見せてほしいと言って、学校との関係を切らさないように心掛けています。

保護者の方もお子さんに対応するのに精一杯で学校との連絡もなかなか応じていただけないという状況になると非常に難しいですが、それでも絶対に連絡は続けるようにし、対面し挨拶をするという地道なところからはじめています。

保護者の方もどのようにしていいかわからない、子どもに対してどんな話をすればいいのか悩んでいる方が多いです。

不登校イコール完全悪だと考えてしまう保護者の方が非常に多いですが、お子さんの人生を考えたなかで、自分自身がどう感情を整理して現実に向き合っていくのかをしっかりと見つめ、大人がそのサポートをしていくことが大切なのではないかという話を保護者としております。

小学校から中学校または中学校から高校への進学という場面において、受験を意識するというきっかけもあるため、まずは家から出ることができるというのを第一目標として話し合いをしているような状況であります。

【 学校教育指導主幹 】

令和3年3月末時点の不登校の児童・生徒30名のうち中学校の24名については、10名近くが小学校在学時からすでに不登校の生徒で、残りの14名程度が中学校入学してから欠席が多くなった所謂不登校気味の生徒であります。

根室だけではなく全国的に中学校1～3年にかけては、思春期の人間関係のもつれなどで教室に入れない、または勉強への意欲がなく学校へ行きたくないという生徒も出始めます。

改善法として、単位を取得すれば高校卒業の資格を得ることができる通信制のインターネット授業を取り入れるという学校もあります。

近年では、中学生でゲームにはまって昼夜逆転した子どもたちが最終的に進学する先としては通信制の学校や全寮制のEスポーツを取り入れた学校などが台頭してきており

ます。

一概に不登校といっても、ちょっとした理由で学校にこれなくなったという状況だけでは済まず、なかには進路にも影響するような生徒もいるというのが現状です。

今回の件については、光洋中学校の新3年生については2年生の段階から2学級編成だったところを3学級編成にし、統合により啓雲生が来た際にもクラス数を維持したまま編成しております。統合準備委員会として検討した結果それがスムーズと思われたためです。

統合前にできるだけ2校間で交流をすすめる計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響をうけ実施がなかなか出来ませんでした。

新2年生については光洋にもともといた3学級編成の生徒と、啓雲から編入した生徒は同じ条件でクラス替えを行いました。ただ、この啓雲生については新3年生と違い、小学校からずっと1学級編成だった生徒たちのため、人数の多い光洋生とあわせてクラス編成を行ったときに、1クラスにおける啓雲生の割合は自然と少なくなるため、仲のいい友人と離れてしまったなど、人間関係が築けない要因が生じてしまいました。

不登校については、保護者がいくら指導しても、児童生徒たちが自らの力でどうにかしようとしめない限りは根本的な解決につながらないものです。

この度光洋中に編入した啓雲生については、もともと1クラスで複数学級の雰囲気にはすぐには慣れないかもしれませんが、高校進学時には今より多人数の集団のなかに混ざるという経験をするようになります。ここを乗り越えられれば高校入学時も難なく集団に溶け込むことができると考えております。

今回の件については、啓雲中から光洋中に異動した教員がおり、生徒にとって見慣れた教員が寄り添えているというのも心強い。現在はその教員を中心に面談しており、慌てすぎず、少しずつ環境に馴染めるように支援していきたいと思っております。

保護者の方に対しては、生活リズムが崩れないように気を付けるとともに、お子さんに行動を強制しないようお願いしました。

【 委 員 】

親族に光洋中新2年生がいるが、小学校に入学した段階から1クラスだったため、クラス替えを経験したことがない。クラス替えがはじめてだったことと、3クラスに分かれたことで、クラス発表の際はとても心配だったと聞いている。

僕らの時代では学校へ行かないなら叩いてでも行かせるというような雰囲気だったが、いまは逆効果ということがわかっているので、自主的な気持ちになるまでは辛抱強くいるのが大切だと感じている。

不登校の子が外に出ると変な目で見られることがあるため、外に出ることが恐怖になり、家にこもってしまう生活になってしまうので、社会全体で見守る必要があると考える。

【 学校教育指導主幹 】

この生徒さんについては、保護者の方に堂々と土日平日関係なくお子さんと出かけるよう促しました。科学的にも太陽の光を浴びることが精神面に寄与するとされているため、引きこもりがちにならないよう、コロナの影響のない範囲で散歩などしていただければと考えています。

【 委 員 】

いじめが原因の不登校というのはあるか。

【 学校教育指導室長 】

子どもたちの人間関係のもつれというのがありますが、現在いじめられたことが嫌で不登校になってしまったという児童生徒はおりませんが、過去3年間でいうといじめが原因と考えられる児童が小学校で2名おりました。

【 教育部長 】

不登校の原因で一番多いのは、「学業不振」と「いじめを除く人間関係」。中学生においては特に「家庭の生活環境の急激な変化」が多い傾向にあります。

【 学校教育指導主幹 】

全国的にみて中学生は特にSNSを通じて暴力的な発言がきっかけとなって傷ついて来れなくなったパターンがあります。昨日までは友達だったのに今日になって関係が悪化するというようなものです。

【 委 員 】

今回の事例でいうと、仲のよかった友達と離れてしまったことが主原因であれば、時間が解決する問題だと思うが、子どもが話した原因についても自分自身でもよく分からないというケースも往々にして考えられるため、理由が別のところにあるとなるとなんらかの対処法をとらなければ解決は難しいと思われる。どんな要因であってもすぐに対処できるよう経過を眺めてほしい。

【 学校教育指導主幹 】

不登校については、児童生徒ひとりひとりが抱えている気持ちに対して、細かく対応していかなければ解決できないと考えております。

【 委 員 】

教員側の対応は分かったが、周囲の生徒たちに対するサポートはどのようにしているのか。

【 学校教育指導主幹 】

友人関係の関わりについて生徒たちと一緒に考えて改善に取り組んでいるということを光洋中の校長から聞いた。友人関係を重視したほうがよいので受け入れ体制を確立しようとしている。

【 委 員 】

はじめの原因は友人関係でも、時間がたてば原因が変わってしまう可能性もあるので、こじれないうちに解決してほしい。

【 教育部長 】

最近増えている原因としては「無気力」というものです。

【 委 員 】

コロナの影響もあるのか。

【 教育部長 】

直接的な関係があるかは現段階では不明です。

【 学校教育指導主幹 】

不登校生徒の割合は他市に比べて多い状況で、不登校とまではなっていないが、1か

月のうち10日以上休んでいるお子さんも数名おります。

【 委 員 】

花咲港にフリースクールをつくるという構想が過去にあったと聞いたが、厳密にいうと「ふれあいくらぶ弥生」はフリースクールという取扱いではないのか。

【 学校教育指導主幹 】

「ふれあいくらぶ弥生」に来た生徒については学校で出席扱いとしているのでフリースクールと取扱いは同じです。全国的にあるフリースクールと異なるのは、公的な機関であるという点です。公営でフリースクール的な機関をつくっているものと考えてもらえればと思います。弥生については、タブレットでオンライン授業できる環境も整備済みであります。

【 委 員 】

学校の先生は配置されているのか。

【 学校教育指導主幹 】

教育支援担当主幹及び、教諭経験のある会計年度任用職員を配置しております。

【 委 員 】

現時点で何名通っているのか。

【 教育支援担当主幹 】

名簿上は6名ですが継続的に通っているのはそのうち3名ほどであります。ほか3名については計画を立てて指導の方向を示しているが、来るタイミングはまばらな状況です。

【 教育部長 】

芸能人の方でも不登校を経験されていた方もいらっしゃるのでは、どこか居場所をみつけられれば頑張れるところもあると思います。不登校をよくないものとするのではなく、それぞれに合ったものを見出して伸ばしていってもらえればと考えています。

午後2時30分 閉会